



会長あいさつ

竹内 一普

つながる、広がるPTA活動を！

高崎市PTA連合会は、85校の単位PTAが集まった小中養護学校および中央中等教育学校で組織される県下最大のPTA連合会です。私たちは単位PTAと共に児童・生徒の健全な成長を図ることを目的とし、各単位PTAの連絡・連携を図ることを主な活動の第一に掲げています。本年度も単位PTAそれぞれが個性ある事業を展開し元気に活動されていることでしょう。

組織改革によって、平成22年度よりそれまでの4ブロック制から8ブロック制に細分化され、隣接単位PTA間のさらなる連携推進がなされました。ブロック会議による会長さん同士の「ヨコのつながり」が強化されることにより、情報交流が盛んになり、合同研修会などが計画され、各ブロックを中心にPTA活動に盛り上がりを見せている

のです。

会長さんたちの情報交流はそれぞれのPTA活動にとって有意義です。子どもたちへの健全育成を推進するためのあらゆる情報を共有し活用することが単位PTAの活性化、さらに市P連の存在価値をも高めるのでしよう。

半世紀以上も前にできたPTA。せっかくPTAという組織・制度があるのですから保護者の私たちはそれを大いに活用したいところです。子どもたちの成長を見守るためのPTA活動、その関わり方はそれぞれの方法で良いはずですよ。それぞれ方法がつながりあう時、学校や地域は自ずと盛り上がることでしようし、そんな活動の領域が広がってくことが素晴らしいのです。

本部役員紹介

▼会長

竹内 一普 (北小)

▼副会長

富山 俊吾 (中央小)

▼常任理事

高橋いよ子 (矢中中)

樋口恵美子 (倉賀野小)

原 孝洋 (下室田小)

安田 祐子 (群馬南中)

小路 美芳 (吉井西中)

小峯 希子 (塚沢中)

伊藤 肇 (東小)

星野順一郎 (南八幡中)

▼監事

谷越 康洋

宮田 義和

川鍋 太志

小此木正信

手島 茂樹 (東京福祉大)

▼参与

土屋万智子

▼理事(ブロック長兼務)

第一ブロック

岩崎 靖志 (榛名中)

第二ブロック

岡田 弘一 (箕郷中)

第三ブロック

武藤 朋広 (岩平小)

第四ブロック

宮田 憲男 (養護)

第五ブロック

佐藤 勉 (寺尾中)

第六ブロック

御供 直起 (長野小)

第七ブロック

鈴木 宏輝 (佐野小)

第八ブロック

桂 健太郎 (南小)

▼委員会

家庭教育委員会

委員長 鈴木 充 (片岡小)

担当本部役員

神宮 嘉一 (中川小)

樋口恵美子 (倉賀野小)

安田 祐子 (群馬南中)

小峯 希子 (塚沢中)

▼情報委員会

委員長

中里見信章 (里見小)

担当本部役員

梅山 文秀 (六郷小)

高橋いよ子 (矢中中)

原 孝洋 (下室田小)

小路 美芳 (吉井西中)

第一回 家庭教育委員会主催 PTAセミナーのお知らせ

【日時】平成24年10月17日(水) 午後7時より

【会場】高崎市市民活動センター (ソシアス)市民ホール

【内容】講演会

演題「親力の向上と子どもたちの可能性を引き出す魔法のセミナー」

講師 青柳 博文氏 (高崎健康福祉大学高崎高校硬式野球部監督)

子どもたちの未知なる可能性をいかに引き出すのか？健大高崎硬式野球部・青柳監督が熱く語る「選手の力を200パーセント発揮させる魔法」の数々。ここでしか聞くことができな「親子の関係を越えた選手との感動実話」など。

今、親としてできることは何か。親力が向上するヒントをぜひ、見つけてください。
※詳細は、各学校のPTA担当の先生に、ご確認ください。

第51回研究大会

▼実行委員長

富山 俊吾 (中央小)

▼副実行委員長

今井 陽子 (城南小)

12月8日(土) 午後1時から、高崎市文化会館にて、高崎市PTA連合会第51回研究大会が開催されます。

講演会の講師には、仮面ライダーで有名な俳優・武道家として活躍している藤岡弘氏です。ふるってご参加ください。

今回は、金環日食の観察、学校給食の方法および環境を意識した体験学習の取組について、記事を寄せていただきました。

学校で！ お家で観たよ！ 天文 Show



新町第二小学校

登校中での観察による危険を回避し、安全に観察ができるように、登校時間を15分遅らせました。事前に案内をしていたので、特に混乱はありませんでした。当日は前日に雨が降り観察が危ぶまれましたが、天気になりみんな観察できましたよ。

【榛名中学校】

希望者を対象として7時30分から30分程度、観察会を実施しました。理科部会では、観察方法と注意事項のプリント、ピン

ホール法で観察するための用具を準備しました。また、自宅に観察用具がある生徒には当日持参させ、互いに貸し合いながら観察しました。173年ぶりの天体ショーを存分に楽しむことができました。

【入野小学校】



入野小学校

安全面を考慮して30分早く登校。興味のある保護者には児童と一緒に登校してもらい、共に観察を行いました。日食グラスは全児童分を確保。その他、天体望遠鏡と手作りのピンホール観察用具で、木漏れ日の観察などを行いました。世紀の天文ショーを楽しみました。

【大類中学校】

特に登校時間の変更はしませんでした。あらかじめ資料を配布し興味を持って観察できるようにし、希望者が早めの登校をして観察会をしました。観測用レンズはなるべく多くの生徒

に参加してもらうために一部の生徒に手作りしてもらいました。

【長野郷中学校】

事前に生徒に連絡し、観察したい生徒は当日校庭で観察できるように配慮しました。学校でも日食グラスを100個ほど用意し、生徒に貸し出しました。理科の教員が中心となって指導に当たり、当日は午前7時過ぎ頃から生徒が集まり始め、およそ100名ほどの生徒が校庭で、観察を行いました。

【岩鼻小学校】

家庭で安全に観察してからというこで、登校の集合時間を7時50分とし、始業時刻が8時40分に変更となりました。観察は任意でしたが、あちらこちらで大人も子供もいっしょになって県内173年ぶりとなる神秘の時間を共有している様子が見受けられました。

【多胡小学校】

いつもより少し早く登校して校庭で、自由観察会を実施しました。観察グラスは、家庭から持参したり、理科室のものを用意しました。地面に座ったり、ベンチに腰掛けたり、椅子を持ち出したりして、朝礼台の周りで観察しました。月がすっぽり

太陽の中に入ったときは、大きな歓声が湧きました。



多胡小学校

【新高尾小学校】

登校を約30分早め、金環日食となる前後5分(計10分)位は、全校で観察。その後、ピンホールによる観察。木漏れ日の観察。鏡の反射による観察を各学年毎に実施。観察グラスで金環日食を見たときは、全校児童から驚きの声があがりました。

【第一中学校】

3年生は修学旅行の荷持の運搬の日で、学校集合を7時30分とし、校庭で日食観察を行いました。2年生はやるベンチャーウィーク、1年生は朝練を中止して登校には十分気をつけるよう指導しました。先生方と一緒に校庭で観察した1年生も多数いました。

【久留馬小学校】

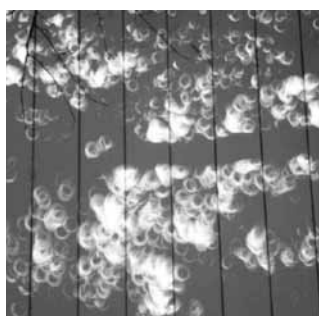
通常登校としましたが、希望

者による観察会を7時から行いました。あらかじめ配布した観察用フィルムで作ったためがねを持参した200名を超える児童と職員、保護者、地域の方が参加しました。職員自作の観察用具や鏡なども用意され、金環の光をいろいろな道具で熱心に観察できました。金星通過はちらっとしか見ることができませんでしたが、あちこちの教室から歓声が上がりました。

【馬庭小学校】

登校時間に余裕をもたせ、通学時間の危険を回避するよう配慮しました。全児童に日食グラスを配布し、各家庭で観察することになりました。とても美しく珍しい天体ショーに子供達も感動した事と思います。

【中居小学校】



体育館の壁に映った木漏れ日

朝早くから何名かが校庭に集まっていました。観察は、理科委員会を中心に行いましたが、

それ以外の児童もたくさん集まってきました。天候にも恵まれ、予定時刻は見事な金環になり、少し薄暗くなりました。世紀の一瞬を観察できたことは、本当に良かったです。なお、金環日食が登校時間と重なったため、地区の方々には登校指導で大変お世話になりました。

【高南中学校】

1年生が高原学校2日目、2年生がやるベンチャー初日、3年生は修学旅行の2日目にあたりました。榛名の山頂で、初出勤前の自宅で、旅先の古都京中で、それぞれの思い出に残る『金環日食観察』ができました。

【滝川小学校】

登校時刻を1時間早くして、地域の方やPTAも協力し、児童全員が安全に登校できるよう配慮しました。全員分の日食グラスを購入し、安全に観察するための事前学習も行いました。日食グラスやピンホールを使って観察したり、木漏れ日の形を観察するなど思い出に残る会となりました。金星の太陽面通過も雲の切れ間を見つげながら全児童が観察を行いました。

【城山小学校】

通学時間帯の危険を回避する

ため、登校時間を1時間繰り下げました。それぞれの家庭で金環日食の観察ができるよう、事前に観察用メガネの申し込みがあり、安く購入することができました。とても珍しい天体ショーを親子で一緒にゆっくり観察できたことはよかったです。

【城東小学校】

登校中の子供たちの安全のため、登校班の集合を通常より30分程度遅い8時とし、集団登校を行いました。日食を観察する場合は、各家庭にて行ってからの登校となり、特に事故や混乱などもなく、スムーズに実施できましたと思います。

【塚沢小学校】

家庭での観測や安全な登校のために始業時間を20分遅らせた。職員が旗振りに出るなどの対応をしました。また、保護者と一緒に観測できるような校庭を開放しました。たくさん家族が校庭で観測し神秘的な瞬間を見るのができ、子どもたちの心にもきつと何か感じるものがあつたはずでした。

【入野中学校】

観察は、部活ごとに朝練習の最初の時間で行いました。事前

に観察についての注意事項を部活ごとに指導し、日食観察用グラスも配布しました。朝練習がない部活で観察を希望する生徒は7時20分に学校に集合し、理科の先生が観察を指導しました。

【西部小学校】

登校時の地域ボランティアの皆様との協力のもと、登校時間を通常より40分早くしました。事前に学校で用意した日食観察メガネの作成キットを各家庭で仕上げ、そのメガネを使って全校児童、先生及び地域の皆様一緒に校庭で観測しました。大勢で金環日食を観察し感動を共有するということは、子供達にとって大変良い思い出になったと思います。

【吉井西小学校】



吉井西小学校

登校時間を一時間早く、全校児童を集めてボランティア・保護者の方のサポートを受けながら、観察会を行いました。天

気を心配しましたが、東の空には雲ひとつない、絶好の観察日和となり、珍しい天体ショーをみんなで一緒に観測し、一緒に感動することができ、心に残る観察会となりました。

【吉井小学校】

家庭で保護者と共に日食観察を行えるよう配慮しました。事前に太陽メガネを全員に配布し、併せて日食観察の際の注意点をまとめた資料を児童と家庭に配布し、指導を徹底しました。登校については、児童の安全を第一に考え、全体で30分繰り下げました。事故や混乱もなく、各自が観察できてよかったと思います。

【下里見小学校】



宿泊ホテルの屋上での観測風景

通学時間帯の危険を回避するために金環日食を観察した後7時45分以降に家を出るように配慮しました。そして、3年生以上には観察用の下敷きを購入、

配布するとともに、事前にビデオで学習し、できるだけ家族と一緒に観察するように指導しました。なお、6年生は、当日修学旅行中で宿泊先の城ヶ島で観測することができました。

【国府小学校】

登校時間を一時間早く、集団登校の際の旗振りも時間を早く実施しました。区長会、交通安全全指導員、保護者による通学路での見守りの協力も得られました。観察方法としては、全校生徒が校庭に出て、事前に用意した「遮光グラス」を着用し観察を行いました。遮光グラスをしていても、長時間の太陽の観察は危険であるため、時間を置きながら実施しました。日食が始まると、子ども達から大きな歓声が上がりと、興奮していましたので、よい思い出になったと思います。

【片岡小学校】

登校時の安全対策を最重要課題とし、登校時間を遅らせました。金環の観測は、各家庭で行い、親子で世紀の瞬間を楽しめました。また、当日の旗振り時間も、各旗振り地区委員会の役員さんと保護者の協力で、登校時間に合わせてもらうことができ、児童が安心して登校できま

した。

【浜尻小学校】



フィルターを使用して撮った金環日食

登校時間を20分遅れにし、画用紙で学校自作の「日食観察安全シート」を全児童に配布し、自宅で観察しました。保護者も含めて、見られた事に感動していました。

【群馬南中学校】

生徒や保護者に呼びかけ、学校の校庭で「金環日食観察会」を実施しました。当日は天気にも恵まれ、150人以上の生徒や保護者が参加しました。月が太陽にかかると気温が下がり始め、太陽が金環になったときの感動は何とも言えませんでした。理科の先生方に指導を受けながら、学校で観察が出来たことは大変良い思い出になりました。

【南小学校】

子どもたちの安全を第一に考え、登校時間を30分繰り下げました。そして、事前に保護者へ通達し、①家庭で観察してから登校する、②早めに登校した子どもは学校で観察することとしました。遮光フィルムの観察用メガネを全児童に配付し、子どもたちがそれぞれ興味深く観察できて良かったと思います。

【新町中学校】

登校時間は通常通りで、部活動の朝練習を中止し、家庭で観察できるように配慮しました。観察器具がなく観察を希望する生徒対象の観察会を7時20分、校庭で実施しました。当日は50人の参加があり、あちこちで歓声が上がりました。7時10分からビデオカメラとテレビを使いリアルタイムに校庭で放映し生徒に好評でした。

【長野小学校】

各登校班集合場所への集合時間を8時とし、通学時間帯の危機回避ができるよう配慮しました。事前学習として群馬天文台のHPを紹介し、専用の観察眼鏡がない場合等に備えて、ピンホール方式で観察する方法とピンホール観察用の厚紙が配られ

た学級もありました。児童が各家庭で最大食の観察ができるよう配慮され、世紀の天文ショーを満喫できました。

【岩平小学校】

児童全員分の「日食専用グラス」を用意して、子どもたちの安全を確保し希望者は7時〜7時15分の登校としました。早朝の希望者観察会でしたが児童全員の参加となり173年ぶりの「金環日食」観察が有意義に行われ大変よかったです。

【上室田小学校】



上室田小学校

タクシー通学の地区があるため、登校時間の変更はなし。早く登校する児童に対応するため、殆どの職員が始業1時間前に出勤し、児童の支援に当たりました。観察方法としては、遮光プレート・教師自作のピンホール型投影機等を利用し、リングがつながった瞬間、子どもたちの間から歓声が上がっていました。

【南八幡中学校】

登校時間に変更せずに部活動の朝練習などで早く登校している生徒と希望者で自主的な観察会を行いました。日食グラスは約1クラス分程用意し、生徒たちは交代で使用したり、自分で持ってきた物を使用したりしていました。

【中尾中学校】

観測は7時33分〜7時36分が最大になるということで、部活動の朝練習をしている生徒は、その時間の前後に観察し、朝練習のない生徒は7時20分から日食観察シートを用意し、登校してきたら観察を実施しました。

【大類小学校】

旗振り当番の方にもご協力いただき、登校時間を30分遅らせ、自宅で観測してから学校へ登校するようにしました。事前に学校からの通知で観測方法や注意事項を配布したため、各家庭で日食グラスやピンホール型の観測器を準備することができ、親子で一緒に観測を楽しむことができました。ほとんどの子どもたちが見ることができ、親子の良い思い出にもなりました。

してるゾ!!
みんなでエコ体験

【倉淵小学校】

旧川浦小学校近くで地元の方から貸りた水田を使い、5年生が稲作りの体験学習を行っています。5月22日に田植えを行いました。毎日の手入れや観察はできませんが、夏休み前には成長の様子を観察し、秋には稲刈りも予定しています。

【入野小学校】



入野小学校

全校で「一人一鉢運動」や「グリーン作戦」などを行い環境整備に努めています。「グリーン作戦」において6年生は地域にある「カタクリの里」のゴミ拾いを行い、保護活動のお手伝いを行いました。

【多胡小学校】

地域の農家から学校の裏の田と畑を借りて、稲作と野菜作り

を行っています。6月4日には、全校でサツマイモの苗を植え、6月中旬には、用水路から水を引いて、3年生が田植えをしました。梅雨に入ると、周辺の田や大沢川から蛙の鳴き声が響き、近くにホタルも生息しています。



サツマイモ苗植え

【箕郷東小学校】

地域の方のご協力により、毎年5年生が田植えの体験学習をしています。児童一人一人が手で苗を植え10月に稲刈りを行っています。

【六郷小学校】

本校は高崎市で最初に尾瀬学校を取り入れました。5年生が対象。事前学習はもちろん、事後学習としてお世話になった尾瀬の指導員さんを招いて発表会も実施しています。

尾瀬での思い出を描いた子どもたちの一枚一枚の絵の全てから歓声が聞こえてくるようです。どれほど有意義で楽しい時を過

ごすことが出来たかがよくわかりました。

【中居小学校】

毎年、5年生がバケツ稲の生育活動に取り組んでいます。先日、市の農政課の方々にお世話になり、苗植えを行いました。今は、植えた3本の苗が20センチくらいまで生長しました。鳥にやられないように、ネットをかぶせて、見守っています。

【滝川小学校】

昨年度から学校ISOに参加し、エネルギーの節約やリサイクル活動など全児童が参加して取り組んでいます。菌磨きの時の水の節約やペットボトルのキヤップ回収など身近な環境を意識させるよい機会となっています。また、今年度から学級園の一部を田んぼとして整備し、5年生の総合学習の稲作りで活用することになりました。農業をすることで自然との関わりを体験させる場となっています。

【塚沢小学校】

環境委員会や各クラスが中心となって、身近でできる省エネ活動を実践しています。児童達が作成した節電ポスターを校内のみならず、安心の家の加盟施設等へ掲示をしています。校内

緑化は栽培委員会が継続実施しています。

また、毎年11月に行われるPTA主催のふれあい祭りに向け、ペットボトルキャップの収集を行っている予定です。今年で3年目の継続事業ですが、今年は「被災地へ桜の苗木を贈ろう。」を合言葉に、50万個のキャップ収集を計画しています。

【入野中学校】

本校は自然に恵まれ、校庭には40本ほどの梅の木があり、6月には学校行事として梅の収穫を行います。PTAも梅林の管理維持に協力するため、夏休み中に緑化奉仕作業を行い、多くの会員が参加します。今年もたくさん収穫がありました。

【国府小学校】

2年生は夏野菜作り、3年生はJA国府と地域ボランティアの大山さんの全面的バックアップにより、国府ブランド白菜作りを実施します。その野菜を利用し学年行事として親子料理実習を実施します。国府地区には有名なブランド野菜が多くあり、地域の産産を知り・関わる上でもよい体験となっています。

【上郊小学校】

6年生がかみつけの里博物館

と連携して、田植え体験をさせていただきました。現代のお米ではなく、古代米の「赤米」「黒米」という種類の苗を植えました。子どもたちは自分の住む地域の自然の豊かさを体感しつつ、田植えの大変さを経験しました。そして、稲刈りも自分たちで行い、収穫の喜びを知りましょう。その後も餅つきなどの体験が待っています。



上郊小学校

【長野小学校】



長野小学校

米作りが盛んな地域の特性を活かし、水土里ネットの方の指導・協力の下、5年生が総合学習で米作りに取り組んでいます。

児童は初取り、苗箱並べの田植え準備を行い、苗取り、田植えはPTA役員を始めボランティアの保護者にもお手伝いいただきて実施しています。秋には稲刈り、脱穀を体験し、自分達が収穫した餅米で赤飯を竈で炊いて食べる収穫祭を学年行事としています。

【東部小学校】

4年生では、校庭の木々について調べることにより、自然環境について考えたり、関心を高めたりする学習を行っています。自分たちで植物の名前や特徴を資料を使って調べた後、フォレストリースクールを実施し、講師の先生に木々の見分け方やそれぞれの木々の特徴を教えてくださいました。

【上室田小学校】

学校の近くで借りた2アールほどの田において、5年生13人が田植えの方法について、地域のボランティアの方々から教えていただき、お米作りの一端を学びました。子供たちは喜んで田に入り、どんなことになりながらも一生懸命に、心を込めて稲を一束一束植えることができました。終了後、きれいに植えられた田んぼを見て、児童も満足感でいっぱいでした。

【寺尾小学校】

どんぐりの会（PTA会長・役員OB・育成会OB等で結成の協力をいただき、学校の近くに場所を借りて、2年生はさつまいも植づくり、5年生は米づくり、6年生はじゃがいもづくりをしています。自分達で植えたものを自分達で収穫し、給食でメニューに取り入れて食べることにより、作ることの大切さと食べ物への感謝を学んでいます。

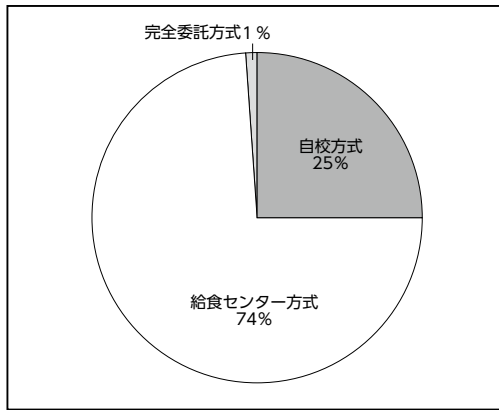
● 広報紙第五号 編集グループ ●

- ・グループ長 荻原 仁（寺尾中）
- ・副グループ長 吉井 賢一（城東小）
- ・書記 松本 邦子（馬庭小）
- 樋口 美香（新町第二小）
- ・編集員 西谷めぐみ（里見小）
- 須藤 龍司（宮沢小）
- 塚越 隆司（箕郷東小）
- 佐藤 雅美（堤ヶ岡小）
- 新井真由美（群馬中央中）
- 井田 昌利（滝川小）
- 須藤沙弥香（六郷小）
- 福島 和樹（新高尾小）
- 富沢 泰子（中央中等）

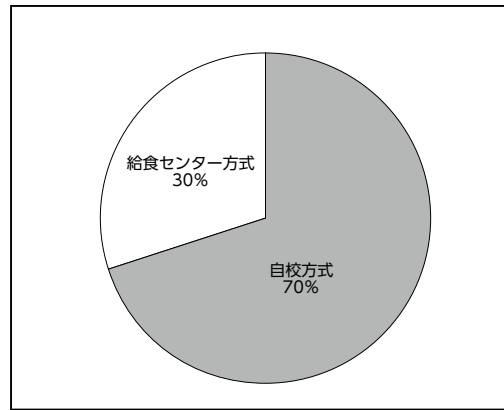
知ってる？ わたしたちの街の学校給食

※各校からの給食事情に関しましては、ホームページに掲載する予定です。

みなさんは、学校で給食を作っている様子を見たことはありますか？
 学校内に給食調理室があり、専属の職員が配置されている場合を「自校方式」と言います。それに対して、複数の学校向けの給食を1か所で共同調理して各学校に配送する場合を「センター方式」と言います。高崎市の「自校方式」は、県内において特色の1つでもありました。現在では、「センター方式」を採用している地域との合併に伴い、市内でも両方式が見られます。そこで「自校方式」と「センター方式」について調べてみました。



【調理場方式比較グラフ（群馬県）】



【調理場方式比較グラフ（高崎市）】

学校給食実施方法の特徴

自校方式	給食センター方式
①児童生徒とのふれあいが増え、コミュニケーションが高まる	①施設整備及び運営経費（調理員の人件費等）の節減と合理化が図られる
②地元農家との協力や児童生徒が作った農作物を食材として活用しやすい	②教職員の給食に関する事務負担が軽減され、教育活動に専念できる
③配送時間が短縮されメニューのバリエーションが広がる	③集中管理により事務管理、労務管理、衛生管理の合理化が図られる
④食物アレルギー児童生徒への個別対応がしやすい	④調理、洗浄作業に大型・自動化機器の導入ができ、作業の合理化が図られる
⑤調理後喫食までの時間が短いので、食中毒予防や、温かさ等の食感についても問題がない	⑤物資の一括配送及び大量発注のため、調達コストが安くて済み、保護者の負担軽減が図られる
⑥食中毒発生時の被害が最小限に抑えられる	⑥調理員の計画的な労働確保や代替要員の確保など弾力的な対応が可能
⑦配送費用はかからない	
⑧食器変更や新メニュー等、弾力的な運用ができる	
⑨学校給食の実施者として、教職員の認識と責任感の高揚が図られる	
⑩学校栄養職員と教職員との連携により、食指導が推進できる	